

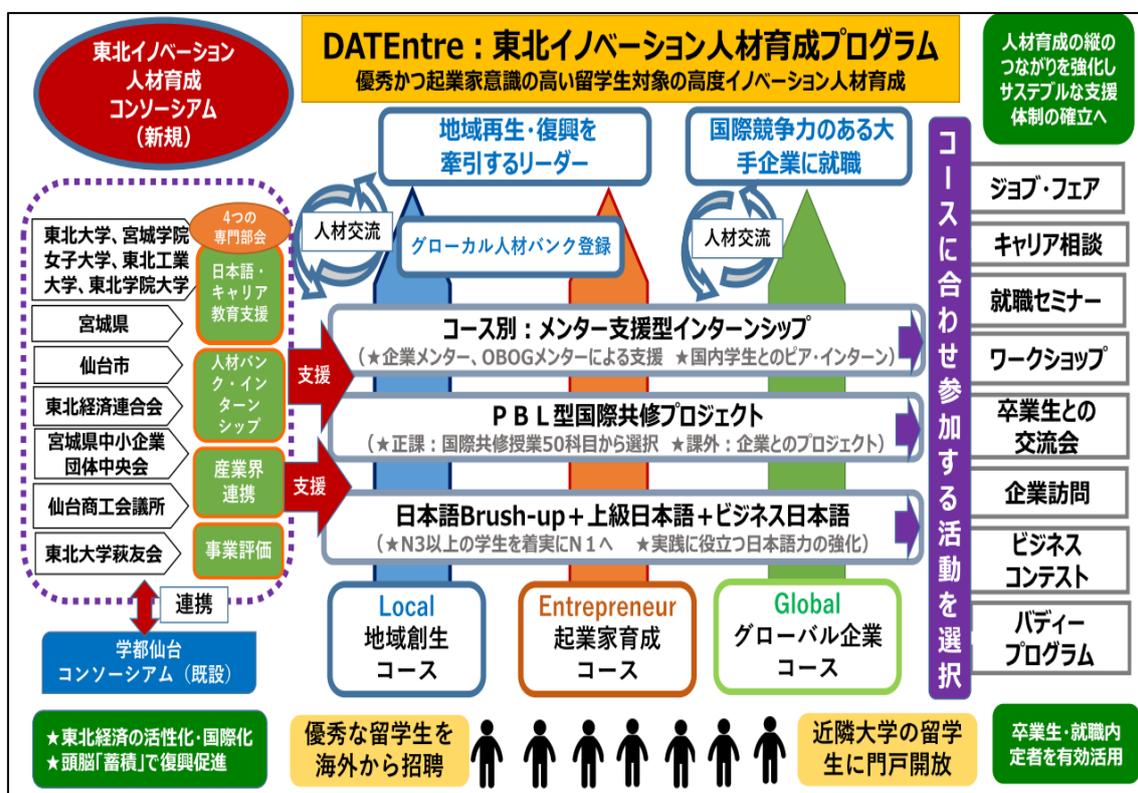
東北イノベーション人材育成プログラム概要

1 東北イノベーション人材育成プログラムとは

このプログラムは、日本でのキャリア形成に関心を持つ留学生の日本語能力、日本的文化への理解、日本社会の就職慣習への理解を高め、東北地方や日本の企業への就職へ結びつけることを目的としています。具体的には、ビジネス日本語、課題解決型プロジェクト(PBL)、インターンシップ、共修授業などを受講しながら、日本での就職に必要な能力を伸ばします。留学生の多様なキャリア志向に合わせ、三つのキャリア育成コースを設定し、日本人学生との共修やペア・インターンシップを実施し、独自のメンター制度を活用するなど、ほかにはないユニークな留学生就職促進プログラムとなっています。

またこのプログラムは、宮城・仙台の四大学、二地方自治体、三経済団体および東北大学同窓会から構成される地域密着型の産学官連携コンソーシアムによって実施されます。地域内の個別組織が単独で実施するのとは異なり、地域の産学官が互いに連携してスクラムを組み、留学生にとって良好な就職環境を提供するとともに、グローバル化が喫緊の課題となっている地域経済にとっても大きな役割を果たすものと確信しています。

このプログラムを活用して、ひとりでも多くの留学生が、新たなキャリアを開拓することを期待しております。



2 3つの特色あるキャリア育成コース

(1) 地域創生コース

卒業後、即戦力として地元企業に就職し、地方経済の発展に貢献する人材を目指します。後継者の不在に直面する企業や、海外展開を図るもしくは検討中の企業との協働プロジェクトやインターンシップを通じてOJT(On the Job Training)にて経営のノウハウや日本式の人材・生産管理、資材調達、品質管理に対する理解を深め、将来的には企業を率いる人材となるための研鑽を図ります。

(2) 起業家育成コース

若手起業家、ベンチャー企業の経営者または投資家と活発に交流し、アントレプレナーとして成功するために必要な知識・素質・スキルを修得します。

専門や経験を生かしたビジネスプランを元に事業計画を立て、会社を起こすプロセスを学びます。

また、国内外のビジネス・コンテストへの参加や在学中の起業にも挑戦する経験を通し、豊かな発想力と創造力を新事業につなげる力を身につけます。

(3) グローバル企業コース

国際社会を牽引する日系大手グローバル企業もしくは在日外資系企業への就職を目指します。留学生に特化したグローバル人材育成教育を通して日本の大企業の文化や慣習、ワークスタイルを理解し、業界・企業研究、エントリーシートの書き方、筆記試験対策、面接対策講座などで、就職活動に必要な知識やスキルを身につけます。

組織のリーダーとして立ち回る行動力を習得し、内定(入社)後は、メンターとしてプログラム参加者の就職活動を支援します。

3 プログラムの特徴

(1) コンソーシアムの活用と構築

プログラムを円滑に推進するためには、地域密着型の産学官連携が不可欠となります。既存のコンソーシアムを有効活用しつつ、本プログラムで着手する高度イノベーション即戦力人材の育成に特化した包括的なコンソーシアムを新たに形成します。

「東北イノベーション人材育成コンソーシアム」は、東北学院大学、東北工業大学、宮城学院女子大学、東北大学と宮城県、仙台市、宮城中小企業団体中央会、仙台商工会議所、東北経済連合会、東北大学同窓会で構成され、人材育成プロセスの所々において協働・連携のもとプログラムを支える屋台骨となります。

(2) 日本人学生との共修およびペアワーク

このプログラムでは留学生と国内学生が共に協力して課題解決に臨み、互いの価値観やワーク・スタイルを理解しチームで共通の目標に向かって努力し、成果を共有する体験学習を取り入れます。

また、インターンシップにおいても、留学生と国内学生を対で配置する「ペア・インターン」を実施します。これにより、留学生受入れ経験のない中小企業の負荷に対する不安も解消され、国内学生は留学生と受入れ企業のリエゾンの役割を果たすことで、グローバル企業に就職した場合の疑似体験が出来ます。

(3) メンター制度

このプログラムでは、最初の数年間はコンソーシアム加盟企業の社員もしくは卒業生がプログラム生のメンターとなり就職活動を支援します。

プログラムの修了者を輩出する3年目からは修了者がメンターとして後輩を支援します。メンター制度を導入することで、プログラム生がメンターを通じて企業や就職活動に関する最新の情報を入手することが出来ます。

また、情報やノウハウの世代を超えた好循環が留学生の就職支援の自立化を促すという効果も期待できます。



P B L の授業風景